

小員環化合物を合成素子とする有機合成化学

Synthetic Organic Chemistry Based on Small Ring Compounds

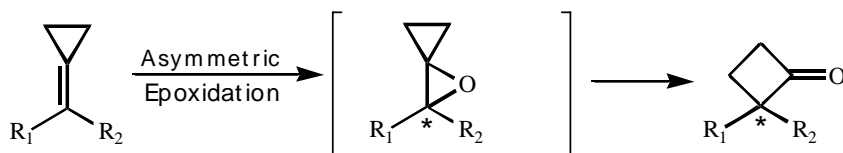
根本 英雄

富山大学大学院医学薬学研究部

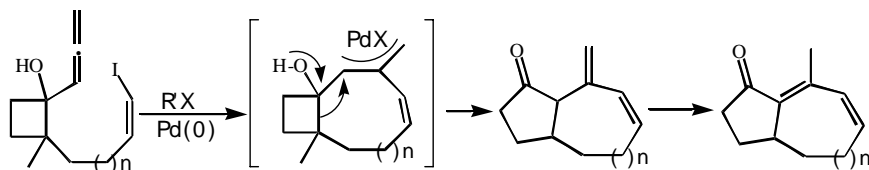
Hideo NEMOTO, Faculty of Pharmaceutical Sciences, University of Toyama

小員環化合物は、その大きな歪みエネルギーの為に興味ある物性、反応性を示す。我々はこの特徴を“もの作り”に生かすべく、有機合成化学における合成素子としての新たな機能の開発と展開を検討して来た。その間の主な経過 1)-4) について述べる。

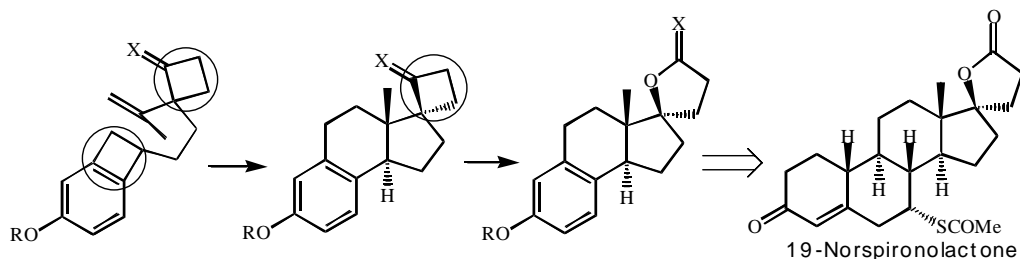
1) シクロプロパン環の環拡大反応-光学活性シクロブタノンの新合成法



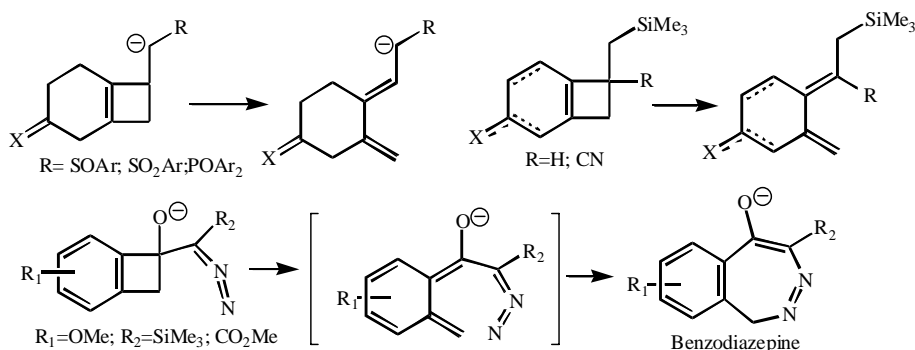
2) 連続的環拡大反応-挿入反応による融合シクロペントノンの新合成法



3) 連続的ペリ環状反応による生物活性化合物の合成と医薬品化学



4) 電子環状反応における新規置換基効果とそのベンゾジアゼピン体合成への展開



[謝辞] 本研究にあたり終始ご指導ご鞭撻を賜りました東北大学名誉教授の恩師故亀谷哲治先生に心より感謝申し上げます。また、研究の細部にわたりご指導頂きました東北大学名誉教授の福本圭一郎先生に感謝申し上げます。本研究は東北大学薬学部及び富山大学薬学部で行なわれたものであり、共同研究者の皆様に感謝致します。